

平成 27 年度第 6 回登別市教育委員会会議録

日 時 平成 27 年 9 月 24 日（木）午後 5 時 00 分

場 所 登別市民会館 2 F 小会議室

第6回 教育委員会議事日程

- 1 日 時 平成 27 年 9 月 24 日（木）午後 5 時 00 分
- 2 場 所 登別市民会館 2F 小会議室
- 3 議 案 議事日程第 1 登別市教育委員会委員長の選挙について
議事日程第 2 登別市教育委員会委員長職務代理者の指定について
報告第 4 号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について
報告第 5 号 平成 27 年第 3 回登別市議会定例会一般質問について
議案第 13 号 平成 26 年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価報告について
議案第 14 号 平成 27 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載の同意について
- 4 その他 1. A L T 新規招致者の紹介について
2. 登別中学校での登別市総合防災訓練について
3. 教育フォーラム開催について
4. 平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果について
5. 「市民スポーツ・健康フェスティバル」について
6. 登別市文化協会創立 50 周年記念事業について
7. 第 6 回登別市学校給食展の開催について
8. 市内小学校学芸会・公開研究会について
9. 教育委員会広報「教育のぼりべつ」の発行について

出席者

（教育委員 5 名）

委員長	垣 内 登紀子	委 員	森 口 達
委 員	赤 井 秀 輝	委 員	堅 田 裕
委 員	武 田 博		（教育長）

（事務局 9 名）

教育部長	佐 藤 史 彦
教育部参与	野 崎 均
教育部次長	橋 場 太
総務グループ建築主幹	出 口 利 美
学校教育グループ総括主幹	田 中 道 郎
学校教育グループ学務主幹	櫻 井 貴 志
社会教育グループ総括主幹	安 部 直 也
図書館長	綿 貫 亨
給食センター長	小 森 仁

(委員会開催前に新規ALTを紹介する。)

○垣内委員長 本日の委員の出席は5名でございますので、委員会は有効に成立していることをご報告します。

はじめに、森口委員の任期が9月30日までとなっておりますが、第3回市議会定例会で再任されましたので報告させていただきます。任期は4年間となっております。

これより、平成27年度第6回教育委員会を開催します。本日の議事日程第1及び議事日程第2は、教育委員会委員の身分の取扱いに関する人事案件でございますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項のただし書き」の規定によりまして、公開しないこととしてよろしいでしょうか。(はいの声あり)

それでは、本日の議事日程第1及び第2は公開しないことといたします。(議事日程第1及び議事日程第2は、非公開のため掲載せず)

○垣内委員長 それでは、公開にて議事を進めさせていただきます。

次に、報告第4号「市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○橋場次長 報告第4号でございますが、平成27年8月27日付で登別市長から「地方教育行政の組織及び運営に係る法律第29条」の規定により、市議会定例会提出議案について本委員会の意見を求められたものでありますが、教育委員会開催の日程調整をできなかったため、「登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項」の規定に基づき、教育長が臨時に代理しましたので、同条第2項の規定により報告し、承認を求めるものであります。

なお、同意した案件は、平成27年度登別市一般会計補正予算(第4号)になります。補正予算の概要について説明させていただきます。

はじめに、「青葉小学校耐震化・改修事業費」は、事業年度を平成27年度と平成28年度の2箇年で実施することとしておりまして、28年度の事業費につきましては、28年度に確保することとしておりましたが、国の優遇措置適応措置の最終年度になります27年度の予算の確保が可能となりましたので、補正をすることとしました。これにより、国の補助率が3分の1から2分の1へ、市債の充当率が75%から100%に引き上げられることとなります。

なお、予算は28年度に繰越して執行することとなります。

次に、「ライブラリースタート事業費」になりますが、図書館では平成25年度に「第2次登別市子ども読書活動推進計画」を策定し、0歳から18歳までの成長過程に応じたきめ細やかな読書活動を推進しております。今年度は子育てグループが親子のふれあいを目的に、4ヶ月児、10ヶ月児、1歳6ヶ月児を対象に図書を配布する「ブックスタート事業」に連携・協力を行っておりますが、その後、就学までの期間は市の取組が空白となるため、物事に関心を持ち始め、学ぶ意欲を育成する大切な時期であります3歳児を対象に自分で希望する図書を配布する「ライブラリースタート事業」を地方創生の子育て支援に位置づけしまして実施することとしました。

事業につきましては、3歳児健診時に案内書を送付し、その後図書館で希望の本を実際に見て選んでもらい、後日送付する事業になります。併せて本に関する相談も受け付けることとしております。

次に、「市民プール運営管理経費」は、多目的プールのスロープがたわんできておりまして、このまま使用を続けるとスロープ自体が壊れる恐れがあることから改修を行う

ものであります。このプールは床全体が可動床になっておりまして、水中移動教室それから障がい者の機能回復訓練等に使用されておりまして、スロープは車椅子の方がプールに入る時に使用するものですが、健常者や子どもたちも一緒に使用しており、その場で跳ねるなど想定以上の負荷が掛かったために生じたと考えております。工事には2週間程度を要するため、年末年始を利用して行うこととしております。それまでの間は、スロープはロープにより入場を制限し、実際に車いすの方が来た時にだけ使用するようになっています。

次に歳入になります。教育費にかかる特別財源としては、青葉小学校耐震化・改修事業費として国庫支出金が27,996千円、市債が34,600千円、ライブラリースタート事業費として国庫支出金792千円を予定しております。以上です。

○垣内委員長 ただ今ご説明のありました報告第4号について、ご質疑ございませんか。

青葉小学校の耐震化、図書館のライブラリースタート、後はプールの可動式の床の修理の3点です。(なしの声あり)

それでは、報告第4号につきましては承認させていただきます。

次に報告第5号「平成27年第3回登別市市議会定例会一般質問について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○橋場次長 第3回定例会の一般質問は、8名の議員から質問がありました。

はじめに、教育委員会に直接質問のあった3名について報告させていただきます。

渡辺議員からは、「柔道授業の実施状況・安全対策・けがの状況」についての質問がありました。

答弁としましては、平成20年3月に「武道」が必修となり、校長会と協議を行い「柔道」を選択しました。1・2年生は必修としまして年間8時間程度、3年制は選択制としまして実施しております。

安全面については、チェックシートを配布し、「指導計画」「事故発生時の対応」などの指導体制を確認し、より安全な指導ができるよう努めております。

また、けがの状況については、北海道への報告を必要とする3週間以上の負傷はありませんが、捻挫等のけがは、平成24年度は3件、25年度は0件、平成26年度は1件になっていると答弁しております。

再質問では、「柔道着について」と「安全の確保について」などの質問があり、柔道着はスタート時に各学校へ、胴着の上と帯だけのセットを40着貸与し利用することとしておりましたが、他人が着た胴着を着たくないなどの意見から、学校の斡旋により上下を購入している生徒もおり、借りた場合は、下がジャージになり見目で分かるため、下も用意できないかとの質問に対しまして、学校の状況を確認し検討すると答弁しております。

また、安全の確保については、指導計画に基づき、今後も安全で効果的な柔道授業の実施に向け、各学校に対し指導の充実や安全管理の徹底してまいりますと答弁しております。

次に成田議員からは、「生涯学習人材バンクの活用実態・現状と課題・今後の展望」について質問がありました。

答弁としましては、生涯学習人材バンクは、指導者情報の収集と整理を行い、平成13年度に「ハンドブック」として発行しております。今年度は改訂版の発行に向けて、利用のしやすさ・見やすさに留意し、団体・個人を合わせて160件程度を登録する予定で

準備を進めております。

課題としましては、学習者のニーズが変化していることから、幅広い対応とともに、市民相互が学びあう環境のさらなる整備を推進する必要があること、展望としては、新たな公共の担い手の育成につながりますので、登録情報の拡充、定期的な更新の取り組み、有効な活用を図られるように努めてまいりますと答弁をしております。

再質問では、「改訂版の内容」や「ニーズの把握」などについての質問がありまして、改訂版は「個人による指導」「団体による指導」「仲間の募集」の3区分に整理しながら作成し、HPについては検索機能について研究を行い、制作に努めますと答弁しております。

また、「ニーズの把握」は、行っておりませんでしたので、今後は講師に対するニーズも含めて、把握に努めますと答弁しております。

次に、杉尾議員からは、「既存屋外スポーツ施設の利用状況、既存施設への改善や要望、施設の建設予定や構想」についてと「旧登別大谷高校跡地」についてという質問でした。

答弁としましては、利用状況は利用人数で報告をしております。各施設の改善や要望は指定管理者から聞いておりますので、安全性や緊急性を確認しながら、協議を進めていきます。

今後の施設建設予定や構想については、新しい施設の設置につきましては財政的に難しい状況にありますので、安全確保に配慮しながら既存施設の有効利用を図っていきたいと答弁しております。

旧登別大谷高校跡地については、市内中心部に位置した広大な土地であることから、大変有用な土地であると認識しておりますが、本市の財政状況から取得することは難しく、またグラウンドの活用については、要望等があった場合は、改めて学校へ相談させていただく必要がありますと答弁しております。

次は関連質問になります。

まず、小栗議員になりますが、背景として人口減少時代に突入しているので、病気による死亡を少なくするため「ガン教育の取組の考え方」の質問がありまして、ガン教育は現在学校で行っておりまして、今後も取り組んでいくと答弁しております。

二瓶議員からは、「緑陽中学校における自転車ルールの啓発はどのように行われているのか」についてと「通学路の緊急合同点検と危険箇所との整合性、それから重視した観点」の質問があり、6月の道路交通法の改正を受けまして、校長会・教頭会で児童・生徒に対する指導の強化をお願いし、緑陽中学校では交通安全に関するDVDの視聴や道路交通法の改正点をまとめたプリントを配布しているほか、実態に則した具体的な指導を行っているかと答弁しております。

緊急点検との整合性では、片倉町5丁目と富士町7丁目の2ヶ所の報告がありましたが、明日中等教育学校の生徒が自転車で通学するコースから離れておりまして、小学生との接触は少ないと考えております。また、点検の観点としましては、歩道や横断歩道の有無など、文部科学省からの通知に基づいて行っておりますと答弁しております。以上です。

○垣内委員長 ただ今説明がありました報告第5号について、ご質疑ございませんか。

今回は3名の方からの一般質問と2名から関連質問ということでしたが、スポーツ施設の利用人数をあげていただいていますけど、人数は上昇傾向なのではないでしょうか、それと

も減少傾向なのでしょうか。

○**安部社会教育グループ総括主幹** 若干の減少傾向だと認識しています。

○**垣内委員長** 通学以外で自転車を利用する児童・生徒がいると思うのですが、道路交通法の改正でプリントの配布などで指導を行ったということではありますが、私が平素から思っているのは、ヘルメット着用というのがあまり増えていないと思います。そのあたりの指導については全面に出していないのでしょうか。改正の中にも着用するようにとあったと思いますが。

○**武田教育長** 努力義務としてありました。

北海道全体では道路が広いこともあるためか、全体的にヘルメット着用が普及していないですね。本州に行きますと道路が狭いためか徹底していましたね。

確かに小学生の交通事故や接触事故はありまして、学校教育から各学校や保護者に注意書を送ったのですが、家庭で配慮しているところもありますし、学校で指導しているところもあります。統一的に全部というのは難しいのかと思います。

○**垣内委員長** 警察署の方が学校に交通安全の指導に行くというニュースを目にします。

着用していると防げる事故もあるということを啓発していただければありがたいと思います。

保護者もヘルメットの必要性を感じていない方が多いのかもしれないので、保護者への啓発が先かなと思いますが、学校と何かの折で指導していただければありがたいと思います。

他に何かありますか。

○**森口委員** 近隣の市町でヘルメット着用している学校はありましたか。伊達の達南中学校が着用していたと思うのですが。

○**垣内委員長** 伊達の方ではつけている所が多いですね。費用も掛かることで、調べたら1個4,000円前後しているみたいですね。

他にはありますか。（なしの声あり）では、報告第5号については終了します。

次に議案第13号「平成26年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価報告について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○**野崎参与** 平成26年度登別市教育委員会点検・評価報告書（案）を作成しましたので審議をお願いいたします。

この報告書は、平成19年に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすために教育委員会が執行する事務の管理執行状況を内部で点検・評価を行い、学識経験者の知見を受けて報告書としてまとめ、市議会に提出するとともに広く公表するものであります。

教育委員会の評価は、市長部局における事務事業評価により効果的に進められておりますが、この点検・評価はこれとは別に、教育委員会の活動を組織的・継続的に改善し、教育行政の担い手としての役割を果たすことを目的とし、教育委員会の活動状況や教育行政執行方針の重点施策の執行状況を検証するものであります。

次に点検評価の概要について説明します。教育委員会の活動状況の概要報告ですが、平成26年度は定例会議が12回行われ、内容については、報告・議案・情報提供の件名と教育活動の視察や研修活動の概要、皆様から出された主な意見を記載しています。

次に重点施策の評価であります。教育委員会が所管する主要施策のうち平成26年度教育行政執行方針にあげた施策それぞれを項目としてその事業の取組むべき具体的な

内容の取組み状況・評価・今後の方向性の順で明らかにしております。

点検評価の方法としましては、マネジメントサイクルを意識したものとし、改善のためのシステム作りに心掛け、教育行政の推進に反映させるのを目的としています。本年度は 19 項目を取り上げておりますので、時間がある時に見ていただければと思います。

次に重点施策の評価についてであります。執行状況や成果、課題を明らかにした上で、教育委員会内部で定めた評価基準を基にその達成状況に応じて 4 段階で評定し、本年度は、Aの「達成している」が 14 項目、Bの「概ね達成している」が 5 項目、Cの「一部に課題がある」、Dの「達成に向け困難な課題がある」が無く、教育行政執行方針に基づき適切な教育行政が進められたと考えています。

点検・評価に関する学識経験者の意見であります。昨年と同様に元工学院参与と退職校長会会長に意見を頂いています。内容としては、元工学院参与の方からは、点検・評価の手法や教育委員会評価のあり方についてご示唆を頂いております。また、退職校長会の会長からは、学力・豊かな心の育成・健康教育など点検項目の主な施策について意見を頂いております。その他に参考資料として、教育に関する具体的な計画と点検・評価の流れ、各種基本計画の業務の推進状況を記載し、教育委員会がどのような計画のもと、どれくらい進んできているのかを明らかにしております。

最後に成果といたしましては、出来るだけ具体的な数値や図表、文書などの掲載により取組の進捗状況を効果的に示すことが出来たと考えております。課題といたしましては、その時々的重要課題を重点施策の項目に分かりやすく盛り込み、示していくところでもありますので、これから改善してまいりたいと考えております。

教育委員会制度が見直され、説明責任が一層求められておりますので、今後も誰が読んでも分かりやすい点検・評価報告書を作成し、教育委員会の使命や活動状況が正しく理解していただけるように努めてまいりたいと思います。以上です。

○**垣内委員長** ただ今説明がありました点検・評価は決定ではないのですよね。

○**野崎参与** はい、目を通してもらいご意見を頂き、次の教育委員会で決定という形にしたいと思っております。

○**垣内委員長** 現段階で何か意見はございますか。この中だと 26 年度の「家族の時間づくりプロジェクト」の中で、市内施設の利用件数がマイナス傾向にあったのですね。今年度は日程を決めているので 26 年度とは違う評価になると思っております。

○**田中学校教育グループ総括主幹** 今年の秋は連休が続きますので、秋に設定するのが難しいので冬一本で実施しようと思っております。

○**垣内委員長** 保護者のアンケートによると、中々理解度が進んでいないということを知っていますけど。

○**田中学校教育グループ総括主幹** サービス業になりますと、土日が関係のないところもありますので、特にそういう家庭から記述式で明確な反対意見が出ていますが、記述式で割合的に多いのですが、認知されている部分もあります。明確な反対意見としてクローズアップされやすい状況でもありますので、それがすべてではないと思います。

○**垣内委員長** この点検・評価について意見等があれば、次回の教育委員会までによろしくお願ひします

この件につきましては他によろしいでしょうか。（はいの声あり）

次に議案第 14 号「平成 27 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載の同意について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○**櫻井学校教育グループ学務主幹** 全国学力・学習状況調査の結果の公表においては、昨年度から実施要項の中に、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことを明記されました。

それに基づいて北海道教育委員会は、市町村教育委員会の同意を得た場合に市町村別の結果を公表することにしました。昨年度には、86市町村の調査結果及び分析結果、改善方法を報告書に掲載いたしました。

本市においても、委員の皆様の見解を伺い掲載しましたが、今年度も同じく北海道教育委員会より「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について同意するか回答を求められましたので、教育委員の皆様のご意見を伺います。事務局としましては、昨年度も公表していること、公表方法が改善方策について併せて公表しようとしていること、公表内容が教科全体の平均正答率になっており、点数ではなく学習の領域別、例えば国語であれば読むこと、話すこと、書くこと、聞くこと等の市町村の特色をレーダーチャートで示すようになっていきます。

このことから、今後の本市における学力向上対策の参考になることから「北海道版結果報告書」に掲載することに同意したいと考えており、委員の皆様の見解を伺いたいと思います。以上です。

○**垣内委員長** ただ今説明を頂きました議案第14号について、報告期限が10月2日までとなっていますので、この場で決定したいと思いますが、昨年同様に同意をしてよろしいでしょうか。（はいの声あり）それでは、教育委員会として同意をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

以上で本日の議事はすべて終了となりましたが、その他事務局より情報提供があればお願いします。

○**橋場次長** 登別中学校での登別市総合防災訓練ということで、総合防災訓練は2年に1回行われていまして、今年が開催年になっております。

日程についてですが、今までは平日の開催としておりましたが、より多くの市民が参加できるようにと議会の方から意見があり、今年度は10月3日の土曜日に行うことになりました。会場については、登別中学校グラウンドの他、登別地区の高台としております。

災害想定につきましては、震度5強の地震が起き、津波から逃れるための高台への避難、ライフラインの途絶、建物の倒壊によりケガ人が発生。さらには浸水により道路網が寸断、避難者が高台に孤立するような状況が発生したという想定になります。

訓練項目は14項目で、参加機関は登別中学校、登別小学校、コロポックルの森を含めました30機関が参加することになっています。以上です。

○**垣内委員長** この総合防災訓練には私たちも参加した方がよろしいでしょうか。

そして学校は土曜授業ということになるのでしょうか。

○**橋場次長** 学校自体は土曜授業の形になるのですが、訓練については参加されなくても大丈夫です。

○**垣内委員長** ありがとうございます。その他にはありますか。

○**野崎参与** 平成27年度登別市教育フォーラムについて情報提供させていただきます。

北海道教育の日の前後1週間、10月25日から11月7日までの教育ふれあいウィークに合わせて、本市の教育に携わる方々と登別の教育を考える機会を設け、学校を核として地域全体で将来を担う子どもたちを育成することやコミュニティスクールの取組

を地域づくりに繋げていくことの重要性を再確認し、地域と保護者、学校が一体となって子どもたちを育む、地域と共にある学校づくりの充実を図るために教育フォーラムを企画しました。

各学校運営協議会の方や教育に関心のある市民の皆様、教職員や教育委員会関係者合わせて 100 名程度の規模を考えております。開催日時は、11 月 6 日金曜日の 18 時から市民会館中ホールを予定しております。

講師の先生として、文部科学省コミュニティスクール推進委員であり、北海道大学学務部長の方を迎え、「地域と共にある学校づくり～コミュニティスクールと地方創生」と題しまして基調講演をいただく他、参加者の方々でのグループ討議を通して共通理解を図り、それぞれの立場で子どもたちを育む意識を高めていただくと共にコミュニティスクールの一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

教育委員の皆様におかれましては、ご都合がございましたらフォーラムに参加していただけたらと考えております。

続きまして、教育ふれあいウィークについて情報提供いたします。

期間につきましては先程にも申しましたが、10 月 25 日から 11 月 7 日までの 14 日間を考えております。その期間内にある行事の中で授業公開を全 13 校で行う形を取りたいと考えております。その他、各学校で行われている特色ある行事もあります。学校に問い合わせたところ、色々な方に見ていただくことに支障は無いとお答えいただいておりますので、この中で参加できるものがありましたら参加していただければと思います。

このふれあいウィークの中核に置いていますのが 6 日の教育フォーラムになります。特に今年はコミュニティスクールがスタートして 2 年になりますので、定着そしてより一層の充実というところをテーマに皆さんで考えていきたいと思っております。以上です。

○**垣内委員長** 10 月 25 日から 11 月 7 日までの 2 週間が教育ふれあいウィークとなっていますが、それぞれの学校に訪問するのはフリーで何うということですので良いのですよね。

○**野崎参与** 学校の方に連絡をしておきたいと思っておりますので、できれば事前に教えていただいた方が助かります。

○**垣内委員長** 参加される方は事前に事務局の方へ連絡をお願いします。6 日の教育フォーラムの出欠については次回の教育委員会ですよろしいでしょうか。

○**野崎参与** 次回の委員会でも良いですし、それより前に分かった段階で連絡をくれても大丈夫です。

○**垣内委員長** それでは、次回の委員会の時に日程調整をお願いします。

○**野崎参与** 先程の点検・評価の件で 1 点付け加えがあります。次回の教育委員会で決定したいと考えており、教育委員会の 1 週間前までに何か気づいた点がありましたら私の方まで連絡をお願いします。その意見を修正しまして、次回の教育委員会で直したものを報告しまして決定という形を取らせていただきたいと思います。

○**赤井委員** 一ついいのでしょうか。中学校区の学校運営協議会も 2 年目を迎えるということですが、緑陽中学校区はプリントが回ってきたりして分かるのですが、他の地区のことが分からないので、できればどのように進んでいるか等簡単に分かるものがあれば教えていただきたいと思います。

○**野崎参与** 各学校の取組があり、それぞれの校区には各学校でこういう取組をしておりますというお便りを出しているのですが、中々全体で共有しあう場面がありませんので、この機会に 13 校それぞれの通信を持ち寄ってもらい、みんなで見て共有しあえるよう

にしたいと思えます。

○赤井委員 それを6日の場で行う予定ですか。

○野崎参与 はい。参加された皆様にこれまでの取組の状況が分かるものを配布したいと考えております。

○武田教育長 スタートが統一的に進もうということではなく、それぞれ特色のある教育を主体に置きながら地域の実態に応じて取り組んできたので、それぞれの地区に色々な状況があると思えますので、そういうものも踏まえながら情報交流をして、さらに充実したり深めたりしてもらおうというのが今回の狙いです。コミュニティスクールの取組状況を一覧にまとめたものが参与の方にありましたよね。

○野崎参与 平成26年度の取組でこういうことをしたという一覧はあります。

○武田教育長 それをフォーラムの時に配りながら議論していただければと思えます。

○垣内委員長 では、他に情報提供があればお願いします。

○櫻井学校教育グループ学務主幹 平成27年度の全国学力・学習状況調査の結果の概要をまとめましたので情報提供させていただきます。

資料の1ページ目は、平成23年度から平成27年度までの全道平均を0とした時の本市の状況を表したグラフになります。本年度については、小学校は国語AとB、中学校は国語Bで全道平均を上回りました。特に国語Bに関しては、小中学校共に全国平均も上回っております。

一方、算数・数学については、小中学校共に全道平均と比べ2~4ポイント下回っています。この2~4ポイントについては、丸一つではなく、三角一つで追いつく数字であるのですが、その分だけ下回っております。

中学生については、平成24年度に6年生だった児童が対象になっていますので、当時の状況に比べると特に国語については挽回してきたといえると思っております。

小学校、中学校共にこの3年間は、プラスもマイナスもすべて4ポイント以内に収まっていますので、全道平均を越えている場合と教科によっては全国平均を越える教科が出てきています。

続いて2ページから5ページを見ていただきたいのですが、ここでは各学校別の全道平均を0とした時の状況であります。小学校では継続して全道平均を超えている学校が出てきていますので、安定した取組みの成果が結果に表れています。中学校においては全道平均と全国平均の差が小さいことを考えますと、過去に比べて全体的に成績が上がってきております。継続して全道平均を下回っている学校につきましては、成果と課題を明らかにするとともに、より具体的な取組み方法を検討していただく必要があるのかと思えます。

次に6ページ目から8ページ目をご覧ください。こちらは問題別の正答率であります。

小学校については、漢字の「巢」という漢字や主語・述語の関係、算数では、180度を越える角の大きさ、展開図の書き方などの図形分野に全国との差が見られました。中学校では、形容詞や形容動詞などの品詞の種類、数学の連立方程式のつくり方や中央値の求め方について課題があります。

9ページから12ページ目には、児童・生徒の質問による学習状況の実態となっております。まず家庭での学習は、小中学校共に復習をしたり、自分で計画を立てて学習に取り組んでいる割合は全国と比べて非常に高くなっています。これは学校や家庭での声掛けがうまく進んでいるのかと感じております。ただ、学習機会は多いのですが学習時間が

全国と比べて短いので、学習時間と成績が結びつくのでこの辺りに今後の課題が見えてくるのかと感じております。また、学習塾等で学習している児童・生徒は少なく、全国と比べて30ポイント以上の差が見られます。

続いて、自尊意識などについてです。例えば、自分には良いところがある、学校の決まりを守っているというところが全国と比べて低くなっております。

国語や算数の勉強については、中学校の国語以外は「好き」と答えている児童・生徒の割合が高くなっております。ただ、「学校に行くのが楽しいか」という質問については、全国に比べ若干少なくなっております。

今後については、先程申しました学習時間と正答率、ゲーム時間と正答率、読書時間と正答率とのクロス集計など詳細な集計を行い、2学期中に市内全小中学校の学力向上担当者を集めて第2回登別市学力向上対策会議を開催し、次年度に向けた取組みをさらに進めていきます。

ちなみに現在話題になっている携帯電話やスマートフォンの所有率については、中学校3年生で78.8%となっており全国平均より高い所有率になっています。小学校6年生についても、所有率が約50%で全国平均に比べ高くなっています。このように様々な所と比べながら各学校に情報提供していきたいと考えております。以上です。

○垣内委員長 登別市の全国学力・学習状況を説明いただきましたけど、詳細な分析をしていただいているようですが、色々な立場で一生懸命されているのですが、こういう数字の中で現れてくるのは難しいものだと思います。それと携帯電話の所有率が高いということは使用している時間も長いということに繋がってきますね。

○武田教育長 P T Aの方でもスマートフォンの取扱いや注意事項についての講演会を開いてくれまして、こういう実態もありますのでP T Aと協議しながら教育委員会と校長会やP T Aの連名で呼びかけなどをしていければと思っています。

○垣内委員長 きっと保護者も使っている人が多いと思いますので、保護者の方々から子どもへ指導していただけるのが大切になると思います。その他に情報提供はありますか。

○安部社会教育グループ総括主幹 「市民スポーツ・健康フェスティバル」と「登別市文化協会創立50周年記念事業」について情報提供いたします。

まず、10月4日日曜日に岡志別の森運動公園と市民プールを会場にしまして「市民スポーツ・健康フェスティバル」を開催いたします。今年度は市制施行45周年記念の冠事業としての実施となります。岡志別ではパークゴルフ、ソフトボール、駅伝、ヘルスウォーキングを行い、市民プールでは障害物競走や水中玉入れ競争、健康測定会など各種イベントを実施する予定です。

続きまして、「登別市文化協会創立50周年記念事業」についてですが、こちらは10月3日土曜日の15時30分から市民会館大ホールにて白石市・海老名市の方々をお招きしまして3市合同芸能発表会が開催され、翌日の4日日曜日の10時からは創立50周年式典が開催されます。また、3日から5日までの3日間につきまして、3市合同作品展覧会が開かれまして、書道・写真・魚拓など様々な作品が市民会館中ホールに展示されることになっております。委員の皆様におかれましては、ご都合がよろしければ式典に参加していただきたいと思っております。以上です。

○垣内委員長 出席の場合は事前に報告しておいた方がよろしいでしょうか。

○安部社会教育グループ総括主幹 特に出欠という形はとっていないので報告はしなくて大丈夫です。

○**垣内委員長** 出来る限り都合をつけて出席をお願いします。他に情報提供があればお願いします。

○**小森給食センター長** 学校給食展について情報提供させていただきます。

今年で第6回になりました「登別市学校給食展」を10月8日木曜日の11時から行います。試食につきましては12時からになりまして、メニューは今年出来ました「登別闇魔やきそば」を学校給食で出すことにしました。時間が許す限り出席いただければと思います。以上です。

○**垣内委員長** 例年は年明けの1月に開催されることが多かったと思いますが、今回は10月8日木曜日の11時からということです。この場で出席できる方を取りまとめたいと思います。給食代として322円が必要になりますね。

○**小森給食センター長** そのとおりです。申し込みは10月2日まで受け付けておりますので、後からでも大丈夫です。

○**垣内委員長** 私は出席させていただきます。他に出られる方はいますか。

○**赤井委員** 私も出席します。

○**垣内委員長** 出られるようになりましたら給食センター長の方にご連絡をお願いします。その他にありますか。

○**橋場次長** お手元に小学校の学芸会と公開研究会と教育広報「教育のぼりべつ」があると思います。

学芸会は10月17日と18日、それから24日と25日の予定となっております。2学期最大の行事になりますので、都合のつく委員は参加をお願いします。

公開研究会につきましては、現在日程がわかっているのが4校で、時間がわかっているのが登別小学校と富岸小学校になっています。内容は授業の公開、その後全体会・分科会といった流れになっています。参加される方がおりましたら事前に学校へ連絡しますので連絡をお願いします。

「教育のぼりべつ」につきましては、少し早いのですが10月1日号をお配りしましたのでご一読願います。以上です。

○**垣内委員長** 学芸会はそれぞれ時間が許す限り出席をお願いします。登別小学校と富岸小学校の公開研究会については、参加できる人は事前に連絡をしてください。その他に情報提供はありますか。(なしの声あり)委員の皆様から何か質疑はありますか。(なしの声あり)それでは最後に10月の教育委員会の開催日について予定をしたいと思います。事務局から考えがあればお願いします。

○**橋場次長** 最終木曜日であります29日を考えておりますがいかがでしょうか。

○**垣内委員長** 10月29日木曜日ですが予定は大丈夫でしょうか。(はいの声あり)

それでは、10月の教育委員会は10月29日の16時30分から開催ということで決定します。詳細は後日事務局の方からお知らせいただくということでよろしく願います。以上で本日の会議を終了します。